

第5回流山市補助金等審議会会議録

- 1 開催日時 平成26年7月16日（水） 午前9時30分から
- 2 場 所 流山市役所第2庁舎3階305会議室
- 3 出席委員 山口会長、西村副会長、川勝委員、廣田委員、大久保委員、中村委員
- 4 欠席委員 光川委員
- 5 出席職員
 - ・学校教育課 田村学校教育部次長兼学校教育課長
 - ・生涯学習課 戸部生涯学習部次長兼生涯学習課長、松本課長補佐、椎名係長
- 6 事務局 手嶋財政部長、福吉財政調整課長補佐、村山主査、菅原副主査
- 7 傍聴者 なし
- 8 議 題
 - (1) 平成26年度既存補助金 ヒアリング（3日目）
 - ① 小中学校特色ある教育活動推進事業協議会育成助成金（学校教育課）
 - ② 文化活動事業費補助金（生涯学習課）
 - ③ 流山市展事業費補助金（生涯学習課）
 - ④ 文化祭事業費補助金（生涯学習課）
 - ⑤ 青少年育成団体連携事業費補助金（生涯学習課）
 - ⑥ 市民体育大会等事業補助金（生涯学習課）
 - (2) その他
- 9 配付資料
 - (1) ヒアリング対象各種補助金の概要等（3日目分）
 - (2) 追加資料
 - ア ヒアリング1日目（7月2日実施分）
 - ・補助金番号 8 流山市民活動団体公益事業補助金
 - ・補助金番号 13 社会福祉協議会事業費補助金
 - ・補助金番号 39 シルバー人材センター補助金

イ ヒアリング2日目（7月9日実施分）

- ・補助金番号 61 勤労者互助会補助金
- ・補助金番号 78 中小企業資金融資利子補給金

開 議 9時28分

（山口会長）

ただいまから、第5回流山市補助金等審議会を開催いたします。

本日の審議会は、出席6名、欠席光川委員1名でございます。

会議は、成立していることをご報告します。

本会議は公開となっておりますので、ご了承願います。

前回に引き続きまして、平成26年度既存補助金のヒアリングを行います。本日は、2課、6件の補助金等についてヒアリングを行います。

はじめに、事務局から配付資料についての説明をお願いいたします。

（事務局）

今日配布している資料について簡単に説明いたします。

日程表にありますとおり、①から⑥までのヒアリングを行います。それぞれ個別の資料を印刷したものを用意しました。追加資料と書いてあるものは、ヒアリング1日目、2日目の審議会から要請があったものの追加資料です。補助金番号13番の社会福祉協議会事業費補助金の資料は、複雑な面があるので担当課の方で説明する時間があれば取っていただきたいという事ですので、後程、皆さんで時間の都合等含めて議論いただければと思います。追加資料の修正点が1点ございます。追加資料の平成23年流山市民活動団体公益事業補助金評価の3ページ4段目の事業名を「ホテル野流山」ブランド化プロジェクトに修正してください。以上です。

（山口会長）

それでは、ヒアリングを開始します。

《学校教育課入室》

（山口会長）

お忙しい中、ヒアリングにご出席いただきありがとうございます。

それでは、小中学校特色ある教育活動推進事業協議会育成助成金についての説明をお願いします。5つの項目、「公益性」、「公平性」、「必要性」、「効果」、「適切性」、ここ3年間でとった改革を中心に5分程度でご説明いただき、その後私どもの方から質問させていただきたいと思います。よろしくお願いします。

（田村学校教育課長）

流山市は、小学校が15校、中学校が8校あります。各学校の地域の特色、児童の実態と合わせて、各学校のねらいについてそれぞれ特色ある活動に活用しています。

本補助金は、大きく分けて研修研究費、地域の交流ために使われる活動費、教育団体の参加費、教育活動費、役務費に使われています。例えば、小学校では、4年生の総合的な学習の中で、盲導犬を使用している方に来校していただき、話を聞いたり、社会福祉協議会の方に来ていただき、車いす体験、杖体験等、計画的意図的に心を育てる教育をしています。その時に、例えば、目の不自由な方の交通費、簡単な茶菓子の接待に使用しています。

多くの小学校1年生の授業で昔遊びの会を行っております。地区社協の方に協力いただいておりますが、それに伴う通信費やお礼の品を作成するための作成費、合同昼食会の給食費に使っています。

中学校においては、日本文化の体験で正月に百人一首大会を行っている学校があります。その時、読み手の専門家を招いた場合の謝礼や接待費に使用しています。どの学校も研修を行っていますが、専門の方を招いての講義等を行う場合の講師謝礼に活用しています。現金で活用できるお金というのは、原則、学校にはありませんので、この補助金が有効に活用されています。教育になりますので、費用対効果を数値として表すのは非常に難しいのですが、強いてあげるのならば、流山の現在、児童生徒の落ち着いた実態に表せると思います。

以前から改善された点は、一律同額を支給するのではなく、各学校からあげられた活動計画を吟味して精査する中で、活動内容によって補助金の額を変えるという対応をしています。今後、より効果的有効的計画をねって利用するよう変えていきます。

(山口会長)

それでは、委員の方から質問等いたします。

(川勝委員)

運用面で気になった事で、補助金の名前が協議会育成助成金となっておりますが、協議会の育成をするために金を出すのですか。教育委員会が直接学校にお金を交付する事は出来ないのですか。なぜ、協議会を通さなければいけないのか、疑問です。協議会の組織はどうなっていますか。

(田村学校教育課長)

協議会を育成するための助成金ではありません。

協議会の組織は、基本的に校長会になっています。協議会の会長が、校長会の会長を務めています。経緯は、平成8年から補助金をいただいており、その時に組織を作り協議会に集約し、そちらの方にお金を渡すという処理になっています。基本的に活動内容等につきましては、協議会で吟味し、教育委員会に上げ、そちらでも再度活動内容の吟味をさせていただいております。問題がある場合は、協議会を通して学校に返す形になっております。なぜ協議会を通して学校に返す形になったのかと言うと、現場の主体性を重視したことから、そのようになったものと認識しています。

(川勝委員)

補助金は、すべて23校に流れているのですね。

(田村学校教育課長)

協議会で吟味して通過しています。

(大久保委員)

対象の小中学校は、今年23校ですが、毎年各学校で申し出があるのですか。それとも協議会の方で決めるのですか。

(田村学校教育課長)

すべての学校に通知して活動を周知し、すべての学校から毎年出てきています。来年度は、小学校16校、中学校9校になります。

(川勝委員)

決算を見ると299万円きれいに使われていますが、どのように23校に配分しているのですか。

(田村学校教育課長)

ひとつ特化して申請が出されたケースは、過去、上総掘りの井戸を掘るための費用の申請がなされたことがあります。基本的には、どの学校も項目に合わせながらやっています。金額的には、頭割りにすると13万円になるのですが、一律に支給されるわけではありませんので、多い学校で14万円、少ない学校で11万円の金額になっています。0円はありません。

(山口会長)

他の市も同じような事をやっているのですか。

成果毎に金額が違うのはどうしてですか。

(田村学校教育課長)

近隣市で柏市は、学校で自由に活用できるお金が現金で出ていると聞いたことがあります。基本的には、それほど多い市でこういう形で支給されているとは思っていません。細かく調査していません。

成果に合わせてというよりも、4月に出される活動計画に合わせて協議会で考え、こちらで確認し出します。

(山口会長)

精算は、どうなるのですか。

(田村学校教育課長)

結果報告がありますが、現在は、それに対しての成果を吟味できる状況ではありません。

(西村副会長)

毎年、学校の活動が限られてきて、毎年毎年同じようなテーマになっているのではないですか。

(田村学校教育課長)

それほど大きな差はありません。

(西村副会長)

情報交換をやって、その成果を活用すればよいのではないですか。

気になることは、指導する先生は変わらないけれど、指導される児童は変わるので、やらなければならないという事かもしれませんが、効率的に成果を活かせませんか。前回も活動の成果がわかるような一覧表で活動をPRしてくださいと、事業の成果を反映するような一定の改善をしてください、情報を共有してくださいといふ事でしたが、それはどのようにしていますか。

毎年毎年きりがいいのではないですか。

(田村学校教育課長)

今、話した内容で活用されている部分があるので学校としては、見込んでしまっています。

(西村副会長)

お金がなければ、見込まないのですか。

(田村学校教育課長)

お金がなければ、出来ない活動も多々あると思います。目にみえない成果として子ども達の感想文を集める等のかたちで成果を示す事は、出来るかもしれません。

(西村副会長)

流山市の小中教育レベルは、近隣でどの程度ですか。

(田村学校教育課長)

東葛6市の中で、流山市は、トップだと思います。落ち着いている状況です。

(西村副会長)

ある教育委員会の人から見ると流山は、高くないと聞いています。頑張らないと駄目だと。

(田村学校教育課長)

学力状況調査も決して低くありません。

(西村副会長)

義務教育、高校、すべてつかんではないのですよね。

(田村学校教育課長)

県立高校は、県が統轄していて比べようがありません。

教育委員会としては、流山市内の小中学校は、どこもお恥ずかしい状況ではありません。

(西村副会長)

母になるなら流山、父になるなら流山とっていますが、学校の評価が落ちると駄目になると思います。子育てで、来ているので。

(田村学校教育課長)

流山市の施策として人口の流入における教育というのは、大切なものになると思います。新設校は、素晴らしい学校ができますが、施設の面だけでなく、教育内容、子ども達の実態は、誇れる状況です。

特色ある教育は、先生方の努力や保護者の皆様の協力により、好循環になりお金が有効活用されている姿であると思っています。

(西村副会長)

成果をまとめたものを整理していますか。

(田村学校教育課長)

指導課の方で各学校の研究成果、実態アンケート等をとっていますので、満足度、学年調査の値で指標を出すことは可能だと思います。そのような資料を用意できれば良かったと思っています。

(山口会長)

299万円を全部使いきっているのに、自己満足ではしょうがないので、教育面での効果や生徒と地域の関係など、市がお金を出すので、結果の検証はどうなっているのか、目に見える形にした方が良くと思います。謝礼を出している経費の支給だけを見ると疑問があるように見えてしまいます。

(田村学校教育課長)

子ども達13,000人のために来ていただいた方の謝礼として見ていただくと、違うと思います。

(山口会長)

教育効果等の検証結果を難しいとは思いますが示してほしいと思います。

(田村学校教育課長)

今年度末、学校からの結果報告は、決算報告だけでなく、教育効果の分も検証できるものをあげてもらいたいと思います。

(川勝委員)

特色ある教育活動に対してどうなのか、というのがないと良い予算とは言えません。

(田村学校教育課長)

わかりました。必ず、お約束します。

(山口会長)

学校教育は、我々素人ですから難しいところがありますが、お金の面で見ざるをえないので、公平性、効果を判断したいのでよろしくお願いします。

(田村学校教育課長)

わかりました。

(廣田委員)

行われているものが、毎年変わらないようですが。

(田村学校教育課長)

大きくは、変わりません。

学年で伸びた効果的な活動、例えば、福祉教育を4年生でやると翌年5年生になるので、次の4年生でそれをやろうとすると、同じ活動が繰り返されることになります。

(廣田委員)

同じものをやるのは良い事なのですか。

(田村学校教育課長)

効果があれば、それを続けます。

(廣田委員)

効果は、今わからないですよ。

(田村学校教育課長)

例えば、1年生で昔遊びをやれば、学校、担任は、こういう事をすれば、1年生は成長できると見えています。

2年生で改善した方が良いときは、次の年でやらない事もあります。

(廣田委員)

ずっと、同じイメージがあります。私も年の離れた子どもがいますが、上も下も同じ事をしているイメージがあります。

(田村学校教育課長)

地域性、学校の施設の問題等、農業体験を取り入れたくても適切なものがないと他のことにする等、実態を合わせながら一番効果的なものにしていると思います。

(廣田委員)

新しい物を取り入れる提案等を協議会で検討できませんか。世の中には新しい物がたくさん生まれているので参考にして取り入れられませんか。

(田村学校教育課長)

費用の範囲内という厳しさがあるのかもしれませんが、毎年、すべて同じではありません。

(廣田委員)

大きくは変わらない感じがします。社会が変わってきているので新しいアイディアを取り入れた方が良いと思います。学校の先生は、忙しくて、早く計画を立てなければいけないので去年と同じ傾向になるのかもしれませんが。

費用は使われ方の問題だと思います。

(川勝委員)

補助金ですから、教育現場でしっかり見て、尚且つ学校教育課で見る、回答の仕方です。

(廣田委員)

もし、もっとお金がいる場合、良い効果があれば、増える事もあり得ると思います。

(田村学校教育課長)

効果の部分を如何に見ていくかだと思います。

(廣田委員)

計画立てる時に、効果を考えるのが一般的ですが。

(田村学校教育課長)

幅広く使われているので、前年度の効果を検証しながら、全部については難しいです。

(山口会長)

市のお金が入っていますので、どう使われているのか、効果の説明の工夫をさせていただきたいと思います。前回指摘したことに対して期待したのですが、今後、検証で

きるようにしてほしいと思います。

ありがとうございました。

《学校教育課退室》

《生涯学習課入室》

(山口会長)

お忙しい中、ヒアリングにご出席いただきありがとうございます。

それでは、文化活動事業費補助金についての説明をお願いします。5つの項目、「公益性」、「公平性」、「必要性」、「効果」、「適切性」、ここ3年間でとった改革を中心に、事前の評価B評価ですので、5分程度でご説明いただき、その後私どもの方から質問させていただきたいと思います。よろしくお願いします。

(戸部生涯学習課長)

文化活動事業費補助金については、配布した資料に基づき説明いたします。補助金の交付先は、流山市文化協会です。こちらの団体は、昭和45年に市内の各種文化団体の交流と文化活動の充実発展を目的に創立された組織です。芸術文化の振興は、生涯学習課、教育委員会が進めなければならない施策の大きな柱のひとつとして、文化団体20団体で構成され、各種事業はあらゆる分野にわたっています。補助金額は、72万円です。構成団体は、盆栽、菊花、囲碁、将棋、俳句、華道、手工芸、茶道、写真、書道、コーラス、舞踊、民謡、邦楽三曲、詩吟、洋舞、音楽、歌謡、映像、短歌このような団体で構成しております。補助金の形態は、運営補助という形です。団体の活動を支援しています。平成24年度の審議会からの指摘を受け、補助金額の見直しをしております。公益性として、市の目指す豊かで活力ある文化都市建設に寄与することを目的に、音楽を始めとしてあらゆる生活文化活動に係る事業を行っています。公平性として、事業の効果は広い範囲に及んでいるものです。必要性として、市の芸術文化活動の担い手である文化協会は、市の芸術文化の振興に大きく役立つ重要な意味合いを持っていると考えています。市民の主体的な活動を促すものと思っています。効果として、地域と連携しながら1年間を通し230事業実施しています。事業内容については、表2番の主な活動に一例として記載しています。地域の文化活動の担い手の育成につながっているところです。適切性として、事業活動が計画に基づいて行われ、会計処理も適切に行われていると考えております。こちらの事業は、生涯学習課の方で計画に位置付けています。平成31年度までの生涯学習推進基本構想は、社会教育、芸術文化、青少年スポーツに係る10か年計画です。この中に、文化活動の部分についても指導育成を共働で事業を進めていくかたちになっています。合わせて、市に掲げる総合計画にも位置付けしています。例えば、総合計画の事業の進捗状況を市民アンケートの指標として設定しています。まちづくり達成度アンケートでは、居住3年以上20歳以上男女3,000名の無作為抽出で毎年、施策の進捗状況

についてアンケート調査を行っています。その中で芸術文化活動をしている市民の割合、芸術文化活動の環境が整っていると思う市民の割合、それぞれ目標値を設定し、アンケートによる実績値というかたちで事業の進捗を評価しながら進めています。現在、所管の審議会から芸術文化活動について、更に公益的なもので、まちづくりの為に推進できないかと、当該条例の最終案がまとまり、早ければ今月中に審議会から教育長に条例案の答申がなされる予定です。今年度中にパブリックコメントを実施し、年度内に芸術文化振興条例の制定を目指しています。流山市の人口が17万人になり、新住民の方が多くいる中で、芸術文化活動が一つのコミュニティづくりのツールになると思います。欠かせない事業として特に力を入れ、今後、平成31年度までの計画を進めていきたいと考えています。

(山口会長)

ありがとうございました。委員の皆様、質問をお願いします。

私の方から、質問しますが、平成31年度までの計画は、芸術文化の振興という事ですが、後期基本計画と整合しているのですか。

(戸部生涯学習課長)

整合しています。

(山口会長)

芸術文化振興条例は、パブリックコメントをして条例の制定案の答申は、どこの審議会で行うのですか。

(戸部生涯学習課長)

私どもの所管審議会、生涯学習審議会です。

(山口会長)

審議会の答申があるという事は、市の方から生涯学習審議会の方に諮問をされたということですね。市のまちづくりやコミュニティに必要なという趣旨ですね。

(戸部生涯学習課長)

平成21年度に策定されました市の総合計画とリンクしています。この時に1回条例の検討をしましたが、財政的な部分と状況から、若干早いという事で、この時は、盛り込まれませんでした。ここへきて、人口増加、近々の実態において、このような条例制定が進んでいる事、議会からの指摘意見等もありました。平成31年度まで推進するというかたちで進めていくものです。

(山口会長)

今の経緯を基本計画との整合、審議会の諮問答申、条例案の策定の流れをまとめた位置付けがわかる簡単な資料をお願いします。

(戸部生涯学習課長)

わかりました。

(川勝委員)

総事業費の1割も満たないし、収支状況を見ても自立が可能なように思えます。

(戸部生涯学習課長)

ご指摘もわかりますが、実際には、1千万強の事業費で市から補助金が72万円、収入の中に会費等が入っています。それで全体運営をしています。

(川勝委員)

補助金を無くせば、市は手を引くのですか。補助金があるので、市が関与していると思います。44年培っているので実力はあるのではないですか。

(戸部生涯学習課長)

団体からは、そういう認識は、ないと思います。市との繋がりが必要で、お金が出ている事によって、共働という部分があります。行事公演等の会場の手当も間接的に支援しています。近隣の実態は、政策のばらつきはありますが、多く出している金額ではありません。柏市94万円、野田市83万円です。流山市は、1団体3万5千円位で3万5千円が無くても自立出来るかという、これまでの関わりもあり、判断が難しいところです。

(山口会長)

3年前の審議会の答申の時には、長期化いわゆるマンネリ化していると、市民目線で見ると、ずっと長く続いているという印象があります。長期のものは、関係部局に改革改善を考えるように通達が出ていると聞いています。

(戸部生涯学習課長)

長期事業だからといっても、私どもの柱的な事業なので、先程も言ったように、文化振興条例を控えており、細かい事業も伸ばしていかなければなりません。長いから云々ということではなく、補助金の額については、見直しをしました。

(山口会長)

一般的に言うと、長いとどうしてもマンネリ化の指摘を受けるとと思いますが、総合計画と連携させて、審議会で条例の制定に結びつけていこうとしているのですね。

(戸部生涯学習課長)

内容が変わってないかという、そうではありません。華道、茶道、着付けは、芸術文化でしたが、今は古典的な文化になっていますが、伝統文化という事で支援していくのが役目であろうかと思っています。自立できるところは、促していく必要があると思います。両局面で見極めながら、当面は、計画の位置付けであって、まだ自立できるところまでいたっておりません。その他の収入は、難しい状況にあります。教育という部分もあるのかもしれませんが、NPOの収入活動とは違います。

(川勝委員)

会費とその他収入で44年になり、自立の段階ではないですか。

(戸部生涯学習課長)

会費は、減ってきています。どちらの団体も後継者不足の問題があります。

(西村副会長)

適正化実行プランの中で本補助金の改革すべき点で、文化協会の団体が行う各事業の自主自立化をさらに促進し、サンセット方式の実現を目指したい。とありますが、

前回指摘されているマンネリ化等に関連して、具体的に説明してください。

(戸部生涯学習課長)

文化協会は、個別の団体ではなくて集合体です。

補助金72万円をご指摘のある長期間であることと自立の部分で、最終的には、サンセット方式でゼロに持っていけないかという長期的な考えです。ただ、早急に出来る事ではありません。色々な発表会、展示会等がありますが、例えば、将棋大会、囲碁大会等で収入と支出をまかなえる団体が出てくれば、部分的に自立をし、全体的な自立につながっていかねばいけないと思います。

(西村副会長)

希望ですか。やっている事ではないのですね。

(戸部生涯学習課長)

希望です。3年前に補助金の見直しをして、減額しています。

(川勝委員)

長期的な考えとは、どれくらいの想定ですか。44年間もやってきて、更に今後、長期的に同じ視点でサンセットになっていくと言われても、未来永劫やっていきますという答えになっています。それなりの改善、具体的な点がないと、希望だけでは判断できません。

(西村副会長)

文化活動を本来なら市が進めなければならないものがあると思います。活動すればお金がかかるので、そのお金をどうするかという話だと思います。市として文化活動を支援しなければならないとは思いますが、どういう自助努力をしているのか聞きたいのです。

(戸部生涯学習課長)

条例に基づいて、振興ビジョンを作成する予定です。平成31年度までに団体の支援事業をどうするか、見直しというかたちで入ってくると思います。ご指摘のとおり自立出来ればいいのですが、ターニングポイントとしてとらえています。

(山口会長)

計画としての方針は、わかりました。こちらは、金額の事を触れざるを得ないのでお聞きしました。

次に、流山市展事業費補助金をお願いします。

(戸部生涯学習課長)

流山市展事業費補助金の交付先は、流山市美術家協会です。こちらの団体は、本市在住者による絵画、彫刻、陶芸等の美術家団体で、昭和52年に設立されております。市民公募の流山市展の企画、運営、開催を行う等、本市における地域文化の振興に寄与し、生涯学習の推進に貢献しています。補助金額は、36万円です。こちらの事業も計画に位置付けた事業です。補助金の形態は、事業費補助です。前回の指摘に基づいて、補助金額の見直しを平成24年度に行っております。公益性については、美術文化の発展を目的として、流山市展の開催等、生涯学習の推進に貢献しています。公

平性として、公募により全市民を対象にした市民参加の機会が得られています。必要性については、広く市民に親しまれている展覧会で、芸術文化の振興に大きく役立っていることから、必要度が高いと考えています。効果として、流山市展は画家などの芸術家を志す方の登竜門となっています。多くの市民や画家を目指す方、美術を勧めている方、作品を作る方、鑑賞する方等々から評価を得ており、十分効果があると考えています。適切性については、事業計画に基づいて行われ、会計処理が適切に行われています。主な活動として、流山市展という名称で美術の作品展示会を毎年7月に柏市の県の施設さわやか県民プラザで開催されます。こちらのギャラリーでないと展示出来ないような量です。今週の土曜日、平成26年度の表彰授賞式が開催される予定になっています。平成25年度の出品状況は、絵画、工芸、彫刻等で合計178点です。その中では、市長賞、教育長賞、市議会議長賞等も設定されております。

(山口会長)

ありがとうございました。質問は、ありませんか。

(中村委員)

経費削減や自立するために具体的に何か行っている事はありますか。

(戸部生涯学習課長)

会員から負担金、出展料を徴収しています。市の補助金36万円を加え、事業費は、160万円を超える位です。その中で一部、懇親会費が10万円位ありますが、これは、対象外経費です。それ以外は、毎年行われる作品の展覧会を行う為の会場費、諸々の準備費、準備費の中には、作品の展示、展覧会中の受付け、警備のアルバイト費用、案内状、目録等の作成、表彰関係の記念品等です。補助金の補助率は、低いと思います。低い中で出展料や会員からの会費で出来るだけ賄えるようなかたちで来ていますが、自立出来るところまでは至っておりません。名称が流山市展と使っています。本来は、市の事業と捉えています。市が直接行うよりも、委託で行うよりも、補助金が、一番経費の少ないやり方だと思っています。

(山口会長)

こちらも条例に位置付けられるのですか。

(戸部生涯学習課長)

文化芸術関係は、スポーツを除いて全部入ります。

補助金という部分で考えれば、ご指摘のように自立出来れば一番望ましいと思います。補助金以外には、収入確保です。私たちは、教育という視点です。収入確保には営利的な面はありません。

(川勝委員)

今まで取ってなかったところからも参加費を取るという努力をして、自立に向かっていくのだと思います。市展は、市民も喜ぶと思いますが、補助金サイドから見れば、そういう努力をして、税金を使わないですむようにしてほしいと思います。

(戸部生涯学習課長)

具体的な数字は、今出ないのですが、出展料が3千円位です。もう少し上げられな

いかと、団体と歩み寄りながら市の財政を理解してもらい、自立出来るのが一番だと思っています。

(廣田委員)

参加費を上げるなら、上げるなりの意義がないといけないと思います。それには、沢山の人に見てもらえる展覧会であることが必要だと思います。登竜門として満足感が得られるのなら、高いお金を払う人達が出てくるように変わっていくと思います。ですが、現状では、そのような努力は成されていない気がしますので、改善した方が良いでしょう。お金のかからない展覧会は沢山ありますので、沢山人に見てもらえるようになれば、高いお金でも出す人がいると思います。

(戸部生涯学習課長)

3千円は、安い額ではありません。

(廣田委員)

それを高くするには、それなりの利益があるような展覧会にしていけないと思います。そこに出すことが素晴らしいみたいな。そのためには、もう少し精力的にネームバリューを上げていく努力をした方が良いでしょう。

(戸部生涯学習課長)

こちらの事業は、展覧会を行って、優秀作品については、市役所1階のギャラリーに年間3回、それぞれ1か月間ずつ展示しています。近隣市からの参加もあります。流山市の事業なので、流山市民を優先し、可能であれば、柏市の方も参加しています。

(廣田委員)

優秀作品を展示出来る場所が他にありませんか。人目に付く所に展示した方が、効果があると思います。

(戸部生涯学習課長)

場所は、限られています。

(廣田委員)

たとえば、インターネットを通じての宣伝活動等、ホームページだけでは、全然効果がないと思います。市のホームページのお知らせを見るのは、どこにあるのか分からないので大変です。

(戸部生涯学習課長)

市のホームページの最初にある「ぐるっと流山」で検索できます。

(廣田委員)

ホームページに頼らなくても様々な宣伝方法があります。例えば、スマートフォンのアプリと連動させる等、工夫する余地は沢山あると思います。同じ展覧会を同じように続けていくのではなく、少しずつ変えてほしいと思います。

(戸部生涯学習課長)

ネット美術館のようなものですね。

(山口会長)

市の広報は、どうなっていますか。

(戸部生涯学習課長)

広報でも、作品の募集等をしています。

(山口会長)

ポスターは、どこかに貼りますか。

(戸部生涯学習課長)

市内公共施設に貼ります。

(川勝委員)

市は、協賛ですか。

(戸部生涯学習課長)

行事そのものは、後援というかたちです。

(中村委員)

流山市の交流人口を増やす為には、出来れば、会場を流山市内の方が良いのではないですか。柏市にお金が落ちてしまうので、流山市で何とかなる方法は考えていけませんか。

(戸部生涯学習課長)

流山市では、スペースも規模ありません。やむなく、柏市の県民プラザになってしまいます。県民プラザは、県の生涯学習施設です。かなり大きい作品等色々あり、重量もあるので専門のギャラリーにしか展示出来ません。従来は流山市生涯学習センターのギャラリーでしたが、今は、足りません。市内で開催したいのですが、生涯学習センター以上の物は、市内にはありません。

(山口会長)

市内だと、例えば、おおたかの森だとお金が落ちますが。

(戸部生涯学習課長)

芸術作品ですので、盗難等の問題等、どこでも出来るわけではありません。

(山口会長)

ありがとうございました。

続いて、文化祭事業費補助金についてお願いいたします。

(戸部生涯学習課長)

文化祭事業費補助金の交付先は、流山市文化祭実行委員会です。市の文化の祭典として開催しております。実行委員会を組織して文化祭の企画、運営をしています。補助金額は、130万円です。こちらの補助の形態は、文化祭開催事業が目的です。事業費補助金の位置付けです。補助金額の130万円は、平成24年度に10%減額をしました。こちらも長いというご指摘がありますが、まもなく60回を迎えます。公益性として、広く市民が参加、鑑賞できる文化の祭典として実施しています。市の施策に合致しています。公平性として、市民が誰もが参加できる秋の文化祭として開催しています。必要性については、広い発表の場として芸術文化の一大事業として、近隣、県、国をあげて、文化祭というかたちで実施されています。近年の流山市においては、転入が多くなっており、人口17万人を超え、今後の地域づくり、コミュニティ形成

に文化祭が大きく貢献していると考えています。効果として、地域文化の一大事業として参加者の交流はもとより、市民主体の活動が進んでいます。適切性については、事業計画に基づいて執行され、会計処理も適切に行われています。事業内容として、この事業が効果的に実施されるようオープニングセレモニーというかたちで、各催し物のダイジェスト版で各団体の内容を紹介しています。オープニングセレモニーをかわきりに芸能発表ステージで音楽、コーラス、邦楽三曲、民謡、詩吟、洋舞、舞踊、歌謡を発表します。作品展で絵画、工芸、彫刻、書道、写真、華道、手工芸、盆栽、菊花の展示発表をします。一般の方を多く受け入れて活動する、囲碁、俳句、茶道、将棋、映写会の行事を文化の祭典という事で実施しています。

(山口会長)

ありがとうございました。

文化活動、美術展との違いは、何ですか。

(戸部生涯学習課長)

美術の展覧会として市展、文化祭は、全体です。美術の部分だけ文化祭とは別に市展を行っています。

近隣市ではないですが、浦安市、市川市、船橋市にも同様の補助金があります。

(川勝委員)

あれもありこれもありという感じで、重なる部分があるようにみえます。集中、選択は、できませんか。

(戸部生涯学習課長)

流山は、美術の関係で昔から活動があります。出来ませんが、美術館の要望もあります。政策的に一本にまとまれば良いのですが、まとまっていません。

(山口会長)

美術は、わかりました。

写真、将棋などは、文化活動事業費もありますが。

(戸部生涯学習課長)

これは、文化協会の運営費です。

(川勝委員)

流山市展と文化祭が重なっていますが。

(戸部生涯学習課長)

ご指摘のとおりですが、今までの文化芸術の事業の展開の中で市の特色としての形になります。

(川勝委員)

うまくジョイント出来ませんか。

(戸部生涯学習課長)

条例を作って、ビジョンを作っていきますので、集約出来れば望ましいかと思います。

(山口会長)

文化活動事業費の主な活動と文化祭は、同じですか。

(戸部生涯学習課長)

文化祭は一堂に行いますが、それ以外の個々の発表会等は、文化活動事業費になります。

(川勝委員)

その他収入は、具体的に何ですか。

(戸部生涯学習課長)

参加者の負担金が208万円。あとは、雑収入、繰越しです。

(山口会長)

出展料のようなものですか。

(戸部生涯学習課長)

内容によっては、参加する上でお金を頂いています。

(川勝委員)

金額に差は、ありますか。

(戸部生涯学習課長)

あります。

出展にあたり、色々なものを用意します。例えば、テーブルクロスや説明書き等、各内容によって違います。

(山口会長)

ここも収入を増やすとすれば、負担金を増やすしかないですか。

(戸部生涯学習課長)

あとは、企業から協賛を受ける等ありますが、文化活動を理解してもらうのは、難しく、市民まつりや花火大会に集中しています。

(山口会長)

ありがとうございました。

次に、青少年育成団体連携事業費補助金をお願いします。

(戸部生涯学習課長)

青少年育成団体連携事業費補助金の交付先は、流山市青少年育成会議です。この会議は、次代を担う青少年の健全な育成を図ることを目的に、青少年育成団体やロータリー、ライオンズなど市内25団体によって構成され、青少年健全育成推進大会や健全育成の啓発活動等の活動を行っています。補助金額は、66万円です。こちらは、平成24年度のご指摘に基づき、補助金額の見直しを行いました。補助の形態は、事業活動費の補助金です。活動の根拠は、総務省が進める青少年国民運動を受け、これに基づき、県が財団をつくり組織しています。それを受け、各市町村で地域ぐるみで青少年の健全育成活動を推進する事を目的に設置されました。公益性として、こちらの事業も先程と同様に計画に位置付けしており、子ども達の健全育成活動を行っている市民の割合や、子ども達が健やかに育つ環境が整っていると思う市民の割合を指標

として掲げ、アンケートの結果を見ながらも事業を展開しています。多くの団体が目的をひとつとして青少年の健全育成に取り組んでいます。当初、市が組織し、事業費の節減を根底に今現在に至っています。公平性として、青少年健全育成推進大会を毎年11月に開催し、健全育成啓発活動を市民対象に実施しています。多くの市民の利益に繋がっていて、類似補助金は、ありません。必要性は、団体で事業方針を定め、市が事務局として関わっており、今後の活動展開等の研修会も開催しました。所属する団体数は、25団体です。啓発活動の中では、直接小学校に出向き、チラシ、ティッシュを配布しています。こちらの団体は、青少年育成活動の推進役として、寄与し、大きな効果があると考えています。適切性については、事業計画に基づいて適切に行われています。又、少子高齢化社会における社会の実情から見ても、こちらの理念は、大変意義深い事業だと判断しています。主な活動は、青少年健全育成推進大会を毎年11月に実施しています。青少年活動に関わった育成功労者、子ども達が善行行動をした分の表彰をしています。市内の小中学校では青少年育成の標語ポスターの入選者の表彰をし、入賞作品は、市役所1階のギャラリーに1か月間展示し、啓発活動を行っています。正月の事業として、親子たこあげ大会、たこ作り教室を開催しています。小学校への啓発物品、声掛けを1学期の修了式、2学期の修了式、3学期の終了式の年3回行っています。子どもの最近の問題に関する研修会も実施しています。

(山口会長)

ありがとうございました。

前は、A評価でした。運営費の大半が補助金で、収入の道がないのですね。

(戸部生涯学習課長)

基本的には、市が行うべき事業で、委託にすると、今より事業費が掛かってしまいます。

(山口会長)

事業の性格上、収入を取るところは考えられないのですね。

(戸部生涯学習課長)

ありません。

(山口会長)

具体的な成果は、ありますか。アンケートは取っていますか。

(戸部生涯学習課長)

アンケートは取っていません。

民間レベルで20団体以上が組織し、市に代わって青少年問題について活動しています。

(西村副会長)

功労者を表彰するための組織ですか。

(戸部生涯学習課長)

アンケートや施策をどのように実施していくかを検討しています。

(西村副会長)

功労者表彰が主な活動のように理解してしまいます。

たこあげ大会やたこ作りは、何で関係があるのですか。啓発活動とどう繋がるのですか。

(戸部生涯学習課長)

親と子で健全育成に繋がる事業として、たこあげ大会を展開しています。

(西村副会長)

大々的に行っているのですか。

(戸部生涯学習課長)

たこあげ出来る環境が、なかなか無いので河川敷を使って、大々的に開催している事業の一つですね。

(西村副会長)

見直しは、出来ませんか。

(戸部生涯学習課長)

事業の見直しは、青少年の今の状態等のアンケート、青少年施策についてどう考えているかについての検討は、必要だと考えています。

(西村副会長)

36年経過していますが、サンセットにはならず、ずっと続いていくのですか。

(戸部生涯学習課長)

サンセットには、なりません。国、県からきている青少年事業ですので、自立とは違うと思います。

(山口会長)

国が位置づけして、ここにある団体を使って青少年の健全育成を行うのですか。

(戸部生涯学習課長)

そうです。市町村毎に行います。

(山口会長)

事業は、各市町村で考えるのですか。

(戸部生涯学習課長)

市の直接主催、委託、補助金、負担金など色々なやり方で実施しています。

(西村副会長)

これに代わる、まとめる団体は、無いのですか。

(戸部生涯学習課長)

無いです。

(山口会長)

色々な大会の事務局は、市ですか。

(戸部生涯学習課長)

市が事務局です。共催で動いています。

松戸市と我孫子市は、未設置で、県が設置するように働きかけています。柏市は、

人口規模が違いますが、206万円です。鎌ヶ谷市は、流山市より人口が少ないですが、72万円の補助金です。補助金が一番効率的です。

(川勝委員)

それは、なぜですか。市の業務に近いのなら、委託でも良いのではないですか。

(戸部生涯学習課長)

そういう側面もあると思います。

(川勝委員)

関係団体から、青少年を育成するための協力金の負担をお願いすることは出来ませんか。そうなれば、補助金も納得できます。

(戸部生涯学習課長)

各関係団体から、会費を期待できれば良いのですが、文化もそうですが、市内業者の協賛を考えていきたいと思います。

(西村副会長)

松戸市と我孫子市では、このようなものが設置していないということですが、課長さんから見てどう思いますか。

(戸部生涯学習課長)

業務的におかしいと思います。県から指導を受けています。

(西村副会長)

指導しても設置しないのは、何か理由があるのですか。

(戸部生涯学習課長)

市の実情があるのだと思いますが、はっきり分かりません。

(西村副会長)

逆に言えば、県の指導で設置するのなら、市そのものが本来やるべき業務ではないですか。高い安いは、置いといて。

(戸部生涯学習課長)

行革審から、民で出来るものは民でという考えに基づいています。

(西村副会長)

全部、お金は補助金で、民では出来てないのではないですか。

(戸部生涯学習課長)

市が、義務的なかたちでやらなければならない部分を除いて、なるべくアウトソーシングで行っています。

(山口会長)

国や県からの指導は、民間を使って青少年健全育成のための活動をしなさいという指導なのですか。

(戸部生涯学習課長)

青少年育成団体は、子ども会、青少年相談員、PTA、ボーイスカウト、地域の学校、自治会、企業、NPO 団体、青年会議所、ロータリー、ライオンズ、日赤、商工会議所等で組織しなさいという指示があり、それに基づいて、流山市は25団体で組織し

ています。

(山口会長)

委託先がないので、このかたちで、市が事務局なのですね。

(戸部生涯学習課長)

私達教育委員会だけの所管で良いかどうかという部分もあります。青少年の教育の面で所管しています。

(山口会長)

ぱっと見た時に、皆が納得出来るようなものにして、その中でたこあげ等をしていると整理した方が良いと思います。

次に、市民体育大会等事業補助金についてお願いします。

(戸部生涯学習課長)

市民体育大会等事業補助金の交付先は、流山市体育協会です。市内の体育スポーツ団体を統括し、スポーツの発展と市民体育の振興を進め、市民の健康の維持と体力の向上を図る事を目的としています。体育協会に関連する団体は、野球、卓球、ソフトテニス、テニス、バレーボール、バスケットボール、バトミントン、柔道、空手、剣道、陸上競技、クレール射撃、サッカー、ソフトボール、ゴルフ、水泳、カヌー、弓道、アーチェリー、ボクシング等です。補助形態は、運営費の補助と事業費の補助、混合の補助形態です。割合は、運営費の方が多くなっています。当該補助金についても平成24年度のご指摘に基づき、補助金額を減額しています。事業は、先程の秋の文化祭と対比する形で秋のスポーツの祭典、市民体育大会の開催を行っています。県民体育大会等の選手の派遣等の事業も行っています。補助金額は、400万円です。公益性として、市の掲げる計画の中で、継続的にスポーツに取り組んでいる市民の割合、スポーツ健康体力の維持増進を行っている市民に割合の指標を設定し、事業の展開をしています。公平性として、広く全市民を対象としている事業です。必要性として、市民体育大会、各種の競技会、スポーツ講習会、指導者の育成等全般的なスポーツ振興に役割を担っています。効果として、少年から高齢者までの幅広い年齢層で構成され、自主運営です。行政が行うよりは、効果があると捉えています。生涯スポーツ人口の増加に対応し、スポーツの機会を提供する他、競技力の向上に繋がっていると思います。適切性として、計画にそって事業に取り組んでおり、市民の健康増進と体力の向上に貢献しています。市民体育大会は、20競技種目で開催され、広報等で呼びかけしています。市民体育大会以外の各種スポーツ大会、スポーツ教室の開催もしています。

(山口会長)

ありがとうございました。

質問をお願いします。

(川勝委員)

体育大会は、近隣市も開催していますか。

(戸部生涯学習課長)

秋の文化祭、市民体育大会は恒例行事です。

(西村副会長)

会場の建て替え中の支障は、ないのですか。

(戸部生涯学習課長)

陸上競技場は、従来から、県民プラザの陸上競技場を使っています。陸上競技以外は、従来どおり使えます。工事は、日曜日休みなので、日曜日中心に市民が一人でも多く出られるようにしています。

(山口会長)

参加者は、何人位ですか。

(松本課長補佐)

平成25年度の実績は、5,699名の参加者です。

(山口会長)

54年の長期で最長です。多くの人に参加して、それなりの理由があると思いますが、マンネリ化が見られ、数字の見直しはされていますが、以前の評価では、スポーツ振興全体の中で、見直し検討してほしいという内容だったと思います。

(戸部生涯学習課長)

平成31年度の計画を待たずに行えれば良いのですが、運営費補助割合の方が大きいので、運営費を下げて、事業費補助金の方に持っていけないか、団体と検討していきたいと思っています。

(西村副会長)

補助金から事業委託について検討していきたいと書いてありますが、具体的にどの辺まで進んでいますか。

(戸部生涯学習課長)

検討していきたいのですが、我孫子市の例を見ると委託料が1千万円を超えているので、補助金いうかたちで、運営費の支援を下げ、事業費補助金の方に持っていけるように努力していきたいと思います。

(川勝委員)

詳細は、分かりませんが、経費の中身や負担のあり方等、54年も長く続いているので、そろそろ考える時期に来ているのではないですか。

(戸部生涯学習課長)

色々な種目があり、会員数もまちまちです。1団体の上限設定もあるのかもしれませんが、長い歴史があり、公平性、先程挙げた以外の新スポーツも考えて、運営費の協力をしてもらいたいと考えています。市民体育大会だけではなく、県民体育大会、関東体育大会、講習会等の事業にもウエイトを置くように調整をしていきたいです。

(山口会長)

市が作成している適正化システムも基本的には、運営費はやめて、事業費の補助も2分の1にとする方向性があり、その中で文化活動もそうですが、事業費にシフトし

ていく必要となりますね。

(戸部生涯学習課長)

文化と同じで、スポーツも市民体育大会以外に色々な大会があるので、そういう部分を見据えながら、事業費補助金の方に軸足を置くようなかたちに持っていければと思います。

(山口会長)

これだけ長く続いているということについて、市民から意見は、出ていますか。

(戸部生涯学習課長)

直接的には、ありませんが、補助金の額が減るだけでも、今まであったものがなくなったようなことを仄聞しています。

(山口会長)

体育協会の構成員、先程の20種目の団体のトップが、総会に出席しているのですか。

(戸部生涯学習課長)

体育協会は、どちらの市長村の自治体にもある組織です。

(山口会長)

内容、例えば、新しいスポーツで若者を取り込んでいくこと等も必要だと思います。

(川勝委員)

中身も精査して、違うものに切り替えていった方が良いと思います。

(山口会長)

そういう事は、生涯学習課で決めるのですか。

(戸部生涯学習課長)

補助金で団体なので、通常業務では事務局的なところにもなります。皆さんで自主的にやってもらい、側面的に指導していきます。

(山口会長)

体育協会に事務局は、ありますか。

(戸部生涯学習課長)

事務局は、会長宅です。

(中村委員)

流山市民体育大会の参加者から会費を取っていますか。

(戸部生涯学習課長)

取っているところもあります。

(中村委員)

それは、収入にあげないのですか。

(戸部生涯学習課長)

67万円位です。

(中村委員)

大会として参加費があるのですか。

(戸部生涯学習課長)

いいえ、各競技内容によって参加費が違います。

(山口会長)

収入を増やす為には、参加費を増やす事しかないのですか。

(戸部生涯学習課長)

そうですね。

(川勝委員)

参考に体育協会のバランスシートは、どうなっていますか。平成25年度の実績を後日頂けますか。

(戸部生涯学習課長)

はい、わかりました。

(西村副会長)

体育大会の用具器具は、参加する団体が用意するのですか。

(戸部生涯学習課長)

例えば、消耗品的な卓球の球やラケットは、参加者で、卓球台は、こちらで用意し、会場の手当てをします。

(西村副会長)

グラウンドの石灰は、どうするのですか。

(戸部生涯学習課長)

石灰は、通常の管理業務なので、一量のストックがありますが、行事で大量に使う事もあります。

(西村副会長)

別な意味で、トータルの中で市が多少支援するのですか。

(戸部生涯学習課長)

部分的に補助金以外で支援する事は、あります。市民体育大会ですので広報の掲載等も市が関わっていきます。

(西村副会長)

建物を使っても無料ですか。

(戸部生涯学習課長)

無料です。そういった支援です。

(山口会長)

長期になっていますので、補助の在り方、内容の精査等を引き続きお願いします。

(戸部生涯学習課長)

資料請求は、2点、体育協会の収入支出、事業計画と文化芸術の基本計画を提出します。

(山口会長)

長時間、ありがとうございました。

《生涯学習課退室》

(山口会長)

本日は、ありがとうございました。

社会福祉協議会の追加資料の中身については、次回、社会福祉協議会の説明をお願いします。

次回は、7月23日、よろしくお願いします。

閉 議 11時48分

流山市補助金等審議会
会長 山口 今朝勝